



松本理事長を再任

学校法人専修大学役員改選

学校法人専修大学は10月23日開催の理事会・評議員会において任期満了に伴う役員改選を行い、11月3日開催の理事会で松本健一氏を理事長に選任(再任)した。就任は11月3日付、任期は3年間。(2面に関連記事)

理事長就任2期目にあたって

松本 健一

大学を取り巻く環境は非常に厳しく、今後、国公立・私立を問わず、大学の統廃合が加速していくことは確実です。1880(明治13)年に創立された専修大学が、教育・研究・社会貢

選ばれる大学となるべく重要な たゆまぬ改革と師資相承の伝統

献という使命をこれからも果たしていくためには、社会に、そして何より学生や保護者に選ばれる大学とな

ものは機動性であると考えております。限られた経営資源を有効活用し、より充実した教育・研究環境を迅速に整備していく所存です。

現在、専修大学では教学・法人が一丸となってさまざまな改革を進めておりますが、情報化社会の加速度的進展は、これまでの社会構造を根底から変化させる事象であり、そうした変化に

も柔軟に対応していく必要があります。

例えば、AIの登場はビジネス社会に限らず、人々の日常生活をも変容する力を備えています。当然のことながら教育・研究分野においても、その活用方法にいくつかの課題を残しつつも、大きな期待が寄せられています。

さらに、DX(デジタルトランスフォーメーション)による業務の効率化と充実を追求し、社会からのアクセスを容易にして、本

等教育機関である専修大学には、果たすべき不変の使命があります。それは創立者の意思を次代へと引き継ぐことです。

「師資相承」。「広辞苑」を繙くと「師から弟子へと道を次代に伝えていくこと」と記載されています。私立大学において「師」とは、創立者であり、教職員であり、卒業生であり、保護者です。私たちに

「師資相承」の言葉通り、次世代を担う人々に対して、創立者が描いた建学の精神「社会に対する報恩奉仕」、そしてそれを現代的に捉え直した21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」を伝えていく義務があります。

これからの全国の校友、育友の方々、そして教職員と共に「オール専修」で厳しい現状を乗り越え、創立者の意思を受け継ぎ「社会知性」を身につけた学生を一人でも多く社会に送り出すことを第一義として「学生を基本に据えた大学づくり」を行ってまいります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

ニョース専修

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 才津さん(経営3)に学長賞……③
- ネット情報「防災DXデー」……④
- 大盛況 創立145年鳳祭を開催……⑤
- 石巻専修大学 2024石巻祭……⑥
- 専大スポーツ……⑦⑧



▲創立145年鳳祭

陸上競技部

2年ぶり72回目の本戦出場決める

陸上競技部は10月19日、東京都立川市で行われた第101回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会に出場し、10時間53分39秒の総合2位で2年ぶり72回目の本戦出場権を獲得。創部100周年の節目に花を添えた。

予選会は1チーム10〜12人が出場。ハーフマラソンを走り、上位10人の合計タイムを競う。指揮を執る長谷川淳監督は「レースプラン通り、しっかりと走ることができた」と確かな手応えを口にした。早くから練習に本格的な集団走を取り入れ、「夏の時点でこれだけちゃんと集団走をやろうというのは初めてだった」と話す。選手たちはしっかりと心算をみせた。また合宿では、各選手に距離ごとの位置取りや順位などを具体的に指示し、実践形式で動きを身体にしみ込ませてきた。

迎えた予選会では「リスクを取らないことが成功につながる」と思っていたと後半の17km付近までは集団でまとまってペースを抑えめにする指示を出し、前半は体力を温存。数字で見ても10kmを9位、15kmを5位と着実に順位を上げていった。

そんな中、期待のマイナ・ダンカン・ガックミさん(商1)が1時間1分47秒の個人3位という圧巻の走り、チームに大きく貢献。新井友裕さん(文3)と上山詩樹さん(経済2)も30番手以内でフィニッシュし、大きなプラスをもたらした。18位に終わった昨年の予選会から挑戦し、革新を起こした。本戦では、次の100年につなぐ走りに期待がかかる。

(専大スポーツ編集部
河上明来海さん・文4)
※8面に関連記事

箱根駅伝予選会

総合2位



革新と挑戦 Break Through

予選会を終え、部員一同で歓喜のスマーク【撮影】河上さん



盛大に創部100周年祝う

体育会陸上競技部の創部100周年記念祝賀会が10月26日、神田キャンパスで開かれた。OB、現役部員ら約130人が出席し、盛大に節目を祝った。写真。宮岡孝之部長に続き、松本健一理事長、桃野直樹校友会会長らがあいさつ。箱根駅伝予選会で総合2位に輝いたメンバーが紹介されると、ひときわ大きな声援があがった。創部以来の歴史をまとめたVTRも上映され、伝統を感じさせる祝賀会となった。

専修大学・石巻専修大学「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」推進募金 箱根駅伝出場応援募金

本戦に向けて努力する陸上競技部へのご支援をお願いします。

専修大学募金局 ☎03-3265-3157



申し込みはこちら

